

平成28年度

## 社会的課題(子育て)をテーマにした 学習プログラムづくり「第1回企画会議」



本会では、福祉教育推進事業の一環として「体験!発見!!ほっとけん!!!」を合言葉とする「やさしさ発見プログラム事業」を実施しています。

この事業は、子どもから大人まで様々な人が福祉を学び、体験学習から得た気づきを通して、ほっとけない気持ちを育んでもらう。そんな気持ちを持った人で広島のまちをいっぱいにする事で、誰もが住みやすいまちに変えていくことを目的としています。

しかし、この事業の活用の多くは、盲導犬とのふれあい、車いす体験、アイマスク体験など定型的なものになってきています。

そこで、実績のなかった「子育て」をテーマにした新たな学習プログラムの開発を行い、地域団体へ実施の提案をしていくこととし、平成28年12月22日に子育て支援活動実践者と区社協の福祉教育担当者に集まっていたいただき、学習プログラムの開発のための企画会議を開催しました。

1回目の会議では、「地域において子育てに対する課題にはどんなものがあるか」また、「その課題を解決していくための学習プログラムにはどのようなものが考えられるか」を議題として取り上げ、様々な視点からご意見をいただきました。

今後も引き続き、企画会議を開催し、ご意見をいただきながら、より多くの方に活用していただけるプログラムづくりにしていきたいと思ひます。



## 自分も相手も大切に

～コミュニケーション技法“アサーション”について学ぶ～



福祉サービス利用援助事業「かけはし」は、認知症や知的・精神障害により判断能力が不十分なために、日常生活の中で契約や金銭管理についてトラブルを抱える可能性が高い方について、本人意思を尊重しながら、その方が地域で安心して暮らしていくお手伝いをしています。支援には相手と良好なコミュニケーションをとる必要がありますが、支援する側と支援される側の価値観の違いや思いの擦れ違いから、スムーズな支援が行えないこともあります。

自分も相手も大切にしながら、互いの意見を認めて伝え合うコミュニケーション技法「アサーション」を学ぶため、平成28年10月27日 株式会社 えな・ヒューマンサポート 代表取締役 森川早苗氏を講師に招き、生活支援員研修会を開催しました。

森川先生からは、自分の「常識」が相手にとっても「常識」とは限らないことを前提として、「自分も相手も同じように大切」というアサーションの基本姿勢や、アサーションにおける3つのタイプの特徴から自己の振

り返りを行ったり、支援の中で想定される場面でのアサーションの有効性についてわかりやすく講義していただきました。

参加者からは、「人はみな違う。その違いを認めることが『アサーション』である。」「多様性、価値観の違いを認め合い、歩み寄りを忘れずコミュニケーションをとっていきたい。」等の意見が聞かれ、支援に限らず個々の生活の中でも活かせる有意義な研修会となりました。



## 「小地域福祉活動について検討する問題別委員会」からの提案を受けての取組



昨年1月に報告があった「小地域福祉活動について検討する問題別委員会」からの提案の中に、地区社協活動の担い手の増員が必要であるということから、①平成元年から各地区社協に設置している『地域福祉推進委員』に対しての役割整理や育成プログラムの作成、②『福祉委員』の基本的な設置意義、役割等を具体的に示し、推奨していくこと、などが挙げられました。この提案をもとに本会では以下の研修会の開催を企画・実施しました。

### ①平成28年度

#### 地域福祉推進委員研修会の開催

今回の参加対象者は地域福祉推進委員とその活動を支える方ということで、地域福祉推進委員の役割や位置づけ等について、地域の中で共通認識を持っていただくことを目的としました。研修プログラムでは、地域福祉推進委員に期待される3つの役割（Ⅰ. アンテナ役、Ⅱ. パイプ（つなぎ）役、Ⅲ. 提案役）を具体的にプログラム化したもので、10月に全体研修Ⅰを行った後、11月から1月にかけて各区社協において区別研修を実施し、最後に全体研修Ⅱとして2月6日（月）開催の地区社協会長・地域福祉推進委員合同研究協議会の場で全体の振り返り等を行いました。研修終了後の研修参加者の声で、「地域福祉推進委員の役割が明確化されて良かった」、「他地区との情報交換ができて良かった」などといった成果もありましたが、「役割が大きすぎて単独では動きにくい」、「民生委員等の他団体との連携が課題である」といった課題も出てきました。

今後についても、地域福祉推進委員がより活動しやすい体制整備を図るため、今回の研修会の結果等を踏まえながら、2年に1回の開催頻度でより良い研修プログラムの作成・実施に努めていきます。



### ②地区社協役員等実践講座

#### （福祉委員について）の開催

今年度の地区社協役員等実践講座は福祉委員をテーマとして、平成29年1月24日に開催し、169名（97地区社協）のご参加をいただきました。広島市域における福祉委員の設置は昭和61年ごろから始まり、当初は民生委員の補完的役割を担い、主に見守り活動を行う活動でした。その後、各地域の必要性により徐々に広まり、平成25年の調査では約4割の地区社協で設置が進み、きめ細やかな取組が進められています。

今回の実践講座では、改めて福祉委員の設置意義や役割、課題や成果等の共通理解を図り、自分たちの地域で福祉委員は必要か、必要ではないのか、あるいは福祉委員に期待すること、設置するために必要なこと等をざっくばらんに語り合う場を設けました。

福祉委員の活動内容としては、サロンの運営や見守り活動に携わることが多く、その他にもあらゆる地域活動に関わられていました。参加者の声としては、全国的な動向や広島市域で先進的な活動をしている地区社協の実践発表を聞き、必要性を感じながらも、担い手（人材発掘）の問題、民生委員等の他団体との連携調整などの課題が多く挙げられました。また、既に町内会組織の中で福祉委員のような動きができている地域もあることが分かりました。

この実践講座でいただいた意見や情報を整理し、福祉委員の設置意義や役割をより明確に示すことで、地域での福祉委員への理解を深め、活動参加者のすそ野を広げていけるよう、今後も取り組んでいきます。





## 共同募金へのご協力ありがとうございます。



平成28年10月1日、基町フレド広場において、厚生労働大臣、中央共同募金会会長のメッセージが広島県知事、広島市長、共同募金会会長に伝達され、第70回「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。

広島市共同募金会は、引き続き八丁堀交差点付近において、この運動がより多くの理解と協力が得られるように、広島市長、市内各区社会福祉協議会会長並びに関係団体の協力のもと街頭募金を行い、募金を呼びかけました。

本年度も、募金目標額を昨年同様「1億円」として運動に取り組み、平成29年1月31日現在で募金額8千230万円あまりのご協力をいただいています。

寄せられた募金は、皆様のお住まいの地域の身近な福祉活動や、様々な福祉課題に取り組むボランティア活動の推進に活かしてまいります。また、一昨年の広島市大雨土砂災害対策の資金として活用されましたが、地震や豪雨などによる大規模災害が発生した際に、被災地で求められる支援活動に即応する資金「災害準備金」として毎年一定額を積み立てています。

今年も「じぶんの町を良くするしくみ。」を目指して、平成29年3月31日まで継続して募金活動に取り組みますので、「赤い羽根共同募金運動」へ格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

お問い合わせ

**TEL 264-6400 FAX 264-6437**

広島市共同募金会 〒732-0822 広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内



### まごころ銀行へのご協力ありがとうございました

本会まごころ銀行に、次の皆さまから尊いご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。(平成28年9月1日～平成29年1月16日・敬称略)

●一般寄附者

林 俊之  
宗教法人 真如苑  
そごう・西武労働組合広島支部  
匿名二名

皆さまからお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害者の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。



宗教法人 真如苑様からのご寄附

### 社会福祉法人広島市社会福祉協議会 賛助会員を募集しています。

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた(貴社・団体)も地域活動に参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、地域福祉推進の基礎的団体である地区(学区)社会福祉協議会のために使います。

**賛助会費** 法人 1□ 10,000円 個人 1□ 1,000円

※□数は何口でも結構です。

※本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「寄附金控除」「住民税額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

**賛助会員へのご協力ありがとうございます。**

次の方々からお申込みをいただきました。【平成28年4月1日～12月31日(敬称略 順不同)】

**法人 87社 114□**

協同組合広島総合卸センター、(株)イトー、岡本電機(株)、高千穂金物、(株)あじかん、(株)テレビ新広島、(株)中国放送、(株)広島バスセンター、協和行政書士事務所、広島県行政書士会成年後見協議会、キョーリツコーポレーション(株)、(株)Taisei、広島修道大学、(株)桐原容器工業所、洋伸建設(株)、OD倶楽部、三栄産業(株)、(株)紀陽、ホテルセンチュリー21広島、広島駅弁当(株)、中央通り乳腺検診クリニック、医療法人社団正岡病院、医療法人和同会広島パークヒル病院、広島シーサイド病院、医療法人翠星会松田病院、医療法人社団いでした内科・神経内科クリニック、東洋観光(株)、補助タクシー、(株)アンデルセン・パン生活文化研究所、(株)福屋、学校法人石田学園、広島文化学園大学・短期大学、広島市流通センター(株)、日本基準寝具(株)、財団法人中国電気保安協会、(株)フレスタ、ぎおん浄廟【有信(株)】、その他50法人

**個人 1,802人 2,863□**

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。これからも、地域福祉を推進する本会の活動にご理解いただき、様々な地域活動に積極的に参加していただくとともに、新年度におきましても引き続き、賛助会員としてご支援ご協力をお願いいたします。

**ご招待  
ありがとう  
ございます!**

本会は「広島市障害福祉施設連盟」及び「広島市児童福祉施設連盟」の事務局を担っています。これらの施設利用者に対して、様々な企業・団体さまからイベント等へのご招待をいただいていますので、本紙を通じて紹介し感謝の意を表したいと思います。

大日本プロレス((有)四ツ葉工芸) 様  
オールジャパン・プロレスリング(株) 様

大相撲広島場所実行委員会 様  
(株)サムライ・ロック・オーケストラ 様

# 平成29年度 広島市シニア大学受講生募集案内

(老人大学からシニア大学へ名称変更し、定員も拡大!!)

<b>対象</b>	市内在住の65歳以上【平成29年4月1日現在】の方で、地域活動やボランティア活動に関心のある方。また、講座だけでなく班活動・自治会活動・サークル活動に積極的に参加していただける方。
<b>学習内容</b>	講座形式で、6月～翌年3月の原則第2・4木曜日 午後1時30分～午後3時 年間19回 在籍期間:3年間 ※希望者は、大学院に進学(2年間)
<b>講座内容</b>	健康・福祉・平和・ボランティア活動・歴史・市政・防災・環境・国際など
<b>班活動</b>	8班編成で、班別懇談会、野外レクリエーション等、学年を超えた学生同士が交流します。
<b>自治会活動</b>	学生の自主運営で、会報「きずな」や卒業アルバムの発行、平和記念公園一斉清掃・赤い羽根共同募金などボランティア活動など実施しています。また、学生相互の交流を深めるため、一泊二日の研修旅行や大学祭を開催しています。

<b>サークル活動</b>	大学・大学院共通の絵画、水墨画、書道、写真、七宝焼き、リズム体操、民謡、大正琴、社交ダンス、歌謡、グランドゴルフ、パソコン、遊歩会、詩吟詠、俳句、ウォーキング、ハーモニカ、混声合唱、ボウリングの19サークルが活動しています。
<b>場所</b>	広島市総合福祉センター (南区松原町5番1号 BIG FRONT ひろしま 5階)
<b>応募方法</b>	往復はがきに、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、携帯電話の番号(持っておられる方)を記入し、4月5日(水)(消印有効)までに、郵送してください。
<b>募集人数</b>	150名程度(申込者多数の場合は、抽選となり、結果について全員に通知します。)
<b>入学諸経費</b>	教材費 2,000円/年 自治会費 4,000円/年 計 6,000円/年

**募集期間 / 平成29年3月15日(水)～4月5日(水) 当日消印有効**

**郵送・問合せ先** 〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター内 (BIG FRONT ひろしま 6階) TEL082-264-6404

**広島市社会福祉協議会 福祉課事業係「シニア大学受講生募集」係**



## 広島市総合福祉センターの会議室やホールをご利用ください。

広島市総合福祉センターは、バリアフリーに配慮された施設で、福祉の増進を目的とする市民の交流や活動の場です。

このセンターには会議や研修会のほか、ちょっとしたミーティングなどに利用できる大小の会議室や、講演会などが開催できる最大定員450名のホールなどがあります。

企業の方の利用もお待ちしています。

**所在地:** 広島市南区松原町5番1号 (BIG FRONT ひろしま5、6階)

**利用時間:** 午前9時から午後9時まで

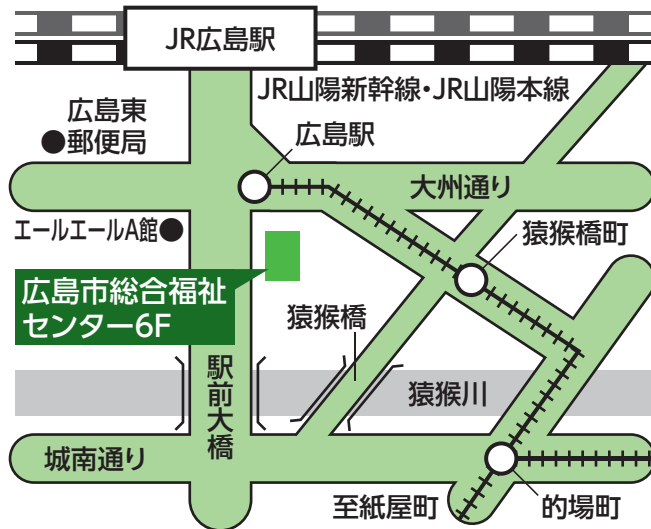
**休館日:** 毎月第3日曜日・8月6日・年末年始 (12月29日～翌年1月3日)

**受付時間:** 平日 午前8時半～午後5時15分まで  
土・日曜日、祝休日 午前9時～午後5時まで (休館日は除きます。)

**問合せ:** TEL082-264-6420 FAX082-264-6437

▼▼▼本会ホームページ内に詳しく紹介しています。▼▼▼

<http://shakyo-hiroshima.jp/>



社会福祉法人 **広島市社会福祉協議会**

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 (BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)

**総務課**

- 庶務係・経理係 TEL082-264-6400 FAX082-264-6437
- E-mail shomu@shakyo-hiroshima-city.or.jp
- URL http://shakyo-hiroshima.jp/

**福祉課**

- 地域福祉係 TEL082-264-6403・FAX082-264-6413
- 事業係 TEL082-264-6404・FAX082-264-6413
- 暮らしサポート係 TEL082-264-6405・FAX082-264-6413
- シニア応援センター係 TEL082-264-6415・FAX082-264-6439
- 福祉サービス利用援助センター TEL082-264-6406・FAX082-264-6437
- ボランティア情報センター TEL082-264-6408・FAX082-264-6416